

北先生との思い出

大島 志帆†

1. 北先生との出会い

私が北先生に初めてお会いしたのは、日本図書館研究会第 57 回研究大会のときでした。

そのころ私はまだ大学生で、司書課程の講師であった川瀬先生に誘われて見学し、大会後北先生に紹介していただきました。北先生のお名前は、教科書であった『資料組織演習—書誌ユーティリティ, コンピュータ目録 改訂第 2 版』で日頃から目にしていたので存じておりましたが、まさか本当にお会いできるとは思っていませんでした。その時は、恐れ多くて腰が引けてしまい、何から話せばよいのか戸惑ってばかりでしたが、実際にお会いした北先生はとても気さくな方で、理解力の乏しい私に、噛み砕いて様々な図書館界の話をしてくださり、安堵すると同時に、北先生の話術にどんどんと引き込まれ、一言も聞き漏らすまいと話題に必死にかじりついていました。

次にお会いしたのは、大学院に入学するにあたり、何を研究テーマにするかという相談で梅田サテライトの談話室に集まったときでした。

それまで、私が知る大学のゼミの先生といえば放任主義で、いざこういうテーマで卒論を書きたいと相談に行った時も、「まあ、いいんじゃないか」と、非常にあっさりしたもので、その後も卒論の内容に関して、特に突き詰めて話すということもありません

でした。

お恥ずかしながら、実際に先生という立場の方と研究テーマについてじっくり話し合うというのも、北先生とのやりとりが初めてで、とても緊張していたのを覚えています。

大学では、自治体の多文化共生政策について研究していたこと、そして将来公立図書館で働きたいと考えていたため、公立図書館の多文化サービスについて研究したいと私がたどたどしく答えると、北先生より多文化サービスの定義から、そもそもの自治体の多文化共生政策とはという論点から数々の指摘があり、茫然としてしまいました。

その後、まだ図書館での勤務経験がなく、実力も不足しているが、具体的にどのように修論を書き進めていくか、あらゆる助言をいただき、何とか方向性を見出すことができました。

初めてお会いした時もそうでしたが、先生自身が「私の頭には Library があり、いつでもすぐに情報が取り出せるようになっている」とおっしゃるように、先生との対話はまるで情報の大海原を目にしているようで、その広大さに圧倒されてしまいます。

そして、ついに院生としての生活と図書館での勤務の生活が始まると、自分の想像以上の過酷さに、何度も心が折れそうになりました。そのたび、北先生が救い上げてくださり、叱咤激励し、優しい言葉をかけてくださいました。私にとって北先生は、

† 株式会社図書館流通センター

まさに「先生の鑑」のような方です。

ご指導のおかげで、なんとか修論を提出することができました。北先生にはただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

2. 公立図書館の多文化サービス

法務省の統計では平成 29 年末の在留外国人人数は、256 万 1,848 人で、前年末に比べ 17 万 9,026 人 (7.5%) 増加しています。

これを背景に自治体はもちろん、公立図書館でも彼らに対する急な対応に差し迫っています¹。

総務省により、2006 年に「多文化共生の推進に関する研究会報告書～地域における多文化共生の推進に向けて～」がまとめられ、図書館の役割について言及されています²。

しかし、『多文化サービス実態調査 2015 報告書』と『多文化サービス実態調査 1998 報告書』とを比較し、分析しましたが、多文化サービスの向上はあまり進歩が見られませんでした。その原因として、「外国人のニーズが分からない」、「職員の外国語対応能力の不足」、「資料費がない」などが挙げられています。しかし、今後も在留外国人が増え続けると容易に予測できるいま、それらを理由に避け続けることはできないでしょう。

私は現在、図書館での勤務の傍ら、地元の公民館で『外国ルーツの子ども勉強会』というボランティアのスタッフを務めていますが、徐々に多様な言語的・文化的背景を持つ人々が増えていることを実感しています。

まだまだ、多くの課題を抱える公立図書館の多文化サービスですが、北先生から学

んだことを少しでも生かせるよう、その発展に貢献したいです。

3. おわりに

北先生、古希をお迎えになられ、心よりお祝いを申し上げます。今後とも変わらずのご健勝をお祈りいたしております。

引用文献

1 法務省「法務省：平成 29 年末現在における在留外国人人数について（確定値）」

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00073.html

[確認:2018 年 8 月 10 日]

2 総務省「多文化共生の推進に関する報告書～地域における多文化共生の推進に関する研究会報告書」

http://www.soumu.go.jp/kokusai/pdf/sonota_b5.pdf

[確認：2018 年 8 月 10 日]

参考文献

1) 日本図書館協会障害者サービス委員会編『多文化サービス実態調査 1998 報告書：公立図書館編』日本図書館協会,1999 .3

2) 日本図書館協会多文化サービス委員会『多文化サービス実態調査 2015 報告書』日本図書館協会, 2017.3

[受理：2018 年 9 月 10 日]